

練馬図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和2年10月29日(木) 14時～15時
- 2 場所 練馬図書館 会議室
- 3 参加者 利用者 4名
図書館 5名
(練馬図書館長、副館長、事務局、主任図書館専門員2名)
(ほか、生涯学習センター 1名)
- 4 テーマ 「新しい社会の中の図書館」
- 5 配付資料 (1) 練馬図書館における新型コロナウイルス感染症対策の現状
(2) 新型コロナウイルス感染症対策の経過
(3) ご来館の皆様へ(ポスター)
- 5 次第 (1) 練馬図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 懇談

練馬図書館利用者懇談会 会議録

1 練馬図書館長挨拶

私の方で進行させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本日の利用者懇談会は、後々議事録等をホームページで公開することもありまして、記録として録音させていただいておりますので、その旨ご了承ください。よろしくお願いいたします。最初に皆様のところにお配りした資料を確認させていただきたいと思います。

(資料確認省略)

それでは、次第に基づいて進めさせていただきたいと思います。

2 図書館職員紹介

練馬図書館副館長 主任図書館専門員2名 事務局

3 資料説明

- (1) 練馬図書館における新型コロナウイルス感染症対策の現状
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策の経過

4 懇談

利用者 昨年の12月にねりまの文庫50周年展をここでさせていただいて、そのお礼を言おうと思ってきました。それで、こんなコロナになるなんて思ってもいなかったの、12月に終わられてよかったなということと、その際は本当に職員の方

にたくさんのご協力をいただいて、見てくださる方もたくさんいらして下さって、本当によかったと思っています。本当にありがとうございました。

それと今、館長さんが説明された中での質問を何点かいいでしょうか。一つはOPACとか試聴機とか、パソコンの使用制限で何台か減らしているのですけれども、これはいつまでというのはまだ分からないのかということと、減るといことは利用者にとって不便だと思うので、そこら辺のことが1点です。

それからもう一点は、よみきかせとかお話をやられているのですけれども、ボランティアはどうしているのかを伺いたいということですね。

それと、どの図書館でも手に取った本をどうしているのかな、練馬図書館さんはどうしていらっしゃるのかなと。かごに入れてくださいとか、このテーブルに置いてくださいとか、各館は違うのですけれども、練馬図書館さんはどうなさっているのかなと。そこに置かれた本をどんな時間で戻しているのかなと、このことを伺えたらと思います。

図書館 まず、貸出機等は台数を制限しているところですが、それをいつ戻すかということに関してはまだ何とも言えないところです。一番数が厳しいのは閲覧席だと思いますけれども、閲覧席にはシールドをもう少し増やせないかなということを検討しています。

利用者 何をでしょうか。

図書館 シールドです。シールドをもう少し増やせば、対面でも座れるようになるかと思しますので、今そのシールドをくださいとお願いをしているところです。それができれば、もう少し席も増やせるかなと思っています。

次に、お話会などのボランティアさんに関してということですが、よみきかせやお話会について、ボランティアの皆さんにご協力をいただいてやってきたところですが、現在はまだ、どうやったらできるかを試しているような状況でもありますので、今のところは私どもの職員がまずやってみようということで進めているところです。だんだん回数等も増やしていくつもりですので、本当にそれも様子を見ながらなのですけれども、ある程度のところから、またボランティアの皆さんにもご協力いただけるのではないかなと思っています。

利用者 それは結構図書館によって本当に違うのですね。

図書館 そうですね。

利用者 ボランティアの入れ方とか。

図書館 そうですね。

利用者 再開は、みんな大体同じぐらいでしたでしょうか。

図書館 そうですね。現在は、かなりのところで事業を大分増やしてやっているということを知っています。それぞれの館によってやり方が違って、短い時間の2部制にして多くの方に来ていただくところもあるようですし、広い部屋を使うとか、その館の事情に応じて工夫してやっていると思います。私も併設の生涯学習センターにいろいろな部屋があるので、そういったところも使わせてもらいながら工夫をさせてもらっています。

最後に、手に取った本ですが、練馬図書館では入り口のところに「書

架から取った借りない本はカウンターに出してください」と貼りだしてあります。ポスターは貼ってありますが、時々それでカウンターに返しに来られる方がおられるという程度です。かごを置いたりブックトラックを置いたりというようなことはやっておりませんので、とにかく入るとき、あるいは帰るときに消毒をしてくださいと、どちらかというところを強くお願いするようにしています。

利用者 何となく、何が正解か分からないのですよね。だから、何か本当に試行錯誤中みたいなのがどの館もあると思います。ありがとうございます。

図書館 毎日、毎日、ニュースを見ていると、いろいろなところから研究の成果が発表されています。どうもコロナウイルスはすごく長生きするというか、何日もずっとこういった表面のところにくっついていたりとか言われたり、あるいは、いや、そんなことはないと言った発表があったり、本当にどれをどう信じていいか、何を聞いていいかも分からないので、様子を見ながら、いろいろな情報も仕入れながらやっていこうかなと思っています。そこで本当に利用者の皆さんのご協力にかかっているのかなと思っています。幸いなことに、まだ練馬区では図書館で感染したということがないので、どこか休館したということはないのですけれども、ほかの区ではスタッフが感染して臨時休館になったというところもあったと聞いています。その辺も、やはり職員はもちろんみんな気をつけているところですが、利用者の皆さんも本当に気をつけていただいているので、今のところは大丈夫なのだろうなと思っています。

利用者 入るときに手の消毒をすれば、ある程度はと思うのですけれども、ただ各館で違うので、結構本を持ってうろうろどこかに置くところもあるのかなとか、何館か練馬区の中で利用してみたら少し対応が違うのだなというのを感じています。

図書館 ありがとうございます。そちらでは、今、どんな対策をされておられますか。

利用者 対策としては大体図書館さんと同じように、サッシの間を開けるとかいろいろしていたのですが、10月に入ってから、例えば1階のパソコンが8台あるのですけれども、それを4台までにしていたのを、もう全部ご利用していただくというふうにしたとか、お部屋の貸出しも10月に入ってからカラオケなどにも再開したりとかしています。

図書館 そうなのですか。

利用者 そうですね。ただ、施設の事業として、例えば歌、コーラスとかコンサートとか、それはまだ事業としては始まっていないのですけれども、施設の2階のところ簡易的な小さな図書などを置いてあるコーナーもあるのですけれども、そちらの本も貸出しを一切今は中止してしまっていて、いらっしゃった方が2階のその前のソファとテーブルがあるので、そこでお読みいただくということだけになっています。お読みいただいた本は、ボックスを置いていて、そちらにお願いして、もうそれはさわらないようにという形にして、下の事務所でその日が終わったら引っ込めて、3日間か4日間取りあえず置いておいて、また戻すといった形を、今は本についてはやっております。

図書館 そうですね。3日置けば大丈夫ではないかという話がありますね。

利用者 そこで、何日置こうかと思って。

図書館 ありがとうございます。ブックスタートについても、随分いろいろと本当に苦労されてやっていただいているということなのですから。

利用者 図書館の皆さんも考えてくださるので、とってもいい対応をまた皆さんが考えていただいたので、できていると思います。やりながら、こういうところに2人で会うのだけれども、箱を最初は向こうに置いていたものを真ん中に置けば、ソーシャルディスタンスがはっきり取れるので、箱を真ん中に置こうとか、少しずつ少しずつ改良してやっています。今のところは大丈夫なので、お母さん方もそれで、1人目の方にはゆっくりお話しさせていただいているのですけれども、人数に限られるもので、2人目で前にゆっくり聞いた方には多少お母さん方に「大丈夫ですか、この本のことをご存じですか。」と確認して、多少時間を詰めていますが、4人でやっているものですから、限られてしまうのですね。だから、そういうところはみんなで話し合っただけにして、2人目、3人目のお母さんには省略できるところは省略して、また新しいお母さんにはゆっくり情報を与えられるように、みんなで共有してやっています。

図書館 以前と違って、歌ったりよみかかせたりというのができないですね。

利用者 歌えないし、お話しもできない。だから、小さい声で。今日も私の担当だったお母さんはもう全部知っているの、少し離れて小さい本を今度は小さな声でね、少しだけ読んであげるぐらいのことを少しして、このぐらいなのですねという感じでして、来る方によって多少対応を変えて、新しい方には全部のことを対応する。何人目かのお母さんで分かっている方には手短かにして、次の方が早く入れるようにということを心がけてやっています。

図書館 来られている方々の反応などは、以前と違いますか。

利用者 いろいろな方がいらっしゃいます。会場に入るのも怖い方もいらっしゃるし、全然平気な方もいらっしゃるの、人によって対応を変えています。それと、以前は会場に20人もいて、自分に対する対応は少ないのではないかというのがありましたけれど、今は1対1で対応しているので、来られたお母さん方は前よりは自分に、完全に自分に対して対応してもらっているの、満足感があるのではないかなと、勝手に自負しているところです。前だと、最後の方に来て赤ちゃんにばかり気を取られて、読んでも、よみかかせもしてもらって手遊びもしてもらっているけれども、泣いているなみたいな感じで、何をしに来たのか分からなくなってしまうような方もおられたのですけれども、今度は一人ひとりで対応しているので、赤ちゃんがぐずったら「もうぐずったからこんな感じですよ」とか、そのときに少しわらべ歌もしてあげたり、ちょっと相対で阿吽の呼吸で少しできるところが良いのではないかとはい思いました。

利用者 ブックスタートパックの中身は全部説明しているのですか。

利用者 一応、全部説明しています。図書館の方からプリントで、「必ず全部これはしてください」というのがあって、私たちも講習で受けているのですけれども、何せ4人で30分という、入られる人の数に限りがあります。全部読むと10分から12、3分絶対かかってしまうのですね。一人に15分かかるとすると、もう4人で4人しか入れなくなってしまうんですよ。30分の間にね。そういうことも

あって、10分前ぐらいから始めてはいるのですけれども、できないので、そういうふうには2人目、3人目のお子さんのお母さんには、一応さっと説明はするけれども、1人目の方にはにこにこというの学童クラブがあってとかから始めるのですけれども、そういうことは2人目、3人目の方にははしょって、その分次のお母さんが早く入れるようにということをしています。そういうことが少し加減できることが良いのではないかなと思っています。

必ずしなくてはいけない説明については、プリントにあるので、一応しますけれども、少し省略したいところも、相手を見るようにしています。

利用者 きちんと相手の方に耳を傾けて。

利用者 そうですね。だからボードブック、前の説明にボードブックありましたよね。「ご存じですか」とか、「赤ちゃんには良いですよ」ということを言うと、「知っています」ということになれば、その点は、「ではそういうことで」みたいな感じで少しはしょってはいますけれども、初めてのお母さんには、にこにこからずっと全部7枚のプリントをきちんと説明するようにしています。

図書館 やはりやり方が変わったことによって、逆に前よりもそういう刺激に、もしかしたらなつたかもしれないという人も、中にはおられるかもしれないですね。

利用者 そうですね。以前は、赤ちゃん一人ひとりに対応することは絶対ないわけですね、何人もいるのですから。だけれども、入ってきて、ぐずってきたら「お名前何ていうの」、「ももちゃん」という感じで、「よく来ましたね」という感じが始まってできるので、お母さんも「何人目ですか」と、もう慣れているお母さんはね、「もう3人目ですよ」みたいな感じで、「もうブックスタートに何回も来ました」と、そういう会話から始まるので、全体をつかめるので、いろいろ相対で調節できるところが良いかなと思います。

利用者 参加者がたくさん来て、私は平和台でブックスタートのスタッフもやっているのですけれども、7月と、先日やはり19組ぐらい来てしまって、平和台はまだ椅子で対応して前の形を踏襲してやっているのですけれども、そういうふうに並んでしまったとか、そういうことはないのですか。

利用者 図書館員さんに、あちらの児童コーナーの方で待機してもらって、「受け付けの方が今、3人ぐらい来ています」みたいに伝えてもらっています。そのような形で、なるべくみんなが気持ちよく入れるようにはしていますが、もうこういう時期なので、本だけもらって帰りたいという方は、常時で受け付けているカウンターのほうに来てもらって、渡していただけるようになっています。

利用者 では、そんなに待たせて大変だったとか、そういうことは今のところはない。

利用者 私は中にいるので、外側では、どうでしょうかね。

図書館 前にセンターの部屋を使ってやったときは、その外側のロビーのようなところで待っていただいたときもあったのですけれども、この会議室に戻ってきてからは、児童書のコーナーで待っていただいているので、皆さんがばらけて待機しています。

利用者 そうです。ほかの本を見に行ったりですね。

利用者 並んで待っているという感じではなくてですね。

利用者 図書館で、番号札を作っていたいただいているので、番号札で分かるので。図書館

員さんの方がいろいろ細かく考えてくださって、なおかつやりながら少しずつ修正したり変更したりしてやっております。

利用者 ブックスタートは大変ですよ。広さもあるし。光が丘図書館では、歌えないので録音したものをやって、前のように踏襲してやっているとか。

利用者 今、対応も各館で変わってきているのですね。

利用者 各館でどんなのをやりましたというのを、ブックスタートの交流会がありまして、その中でやったので、でも今さらもうみんな自分たちのやり方があるから、その中からこういうのもいいかなと取り入れたりして、マスクをしてフェイスシールドをしてやっているところもあるようです。

利用者 一対一で対面というのは、どうですか。

利用者 やってみたら、意外と良かったですよ。

利用者 最初、保健相談所でやっている頃には、少しあったのですけれども。

利用者 最初はそのようですね。スライドを見たとき、そういう対応でした。

利用者 廊下でやったりしていたので。

図書館 そうなのですか。

利用者 だから対面でしかできなかったというのがあるのですけれども。すみません。

図書館 いえいえ、ありがとうございます。

利用者 そんな感じでやっております。

図書館 そちらは高齢者の方が対象なので、すごく気を遣われているのではないかと思いますけれども。

利用者 そうですね。もう、来られたら必ず消毒していただいて、また体温を測っていただいて。皆さん結構夏場などは、暑い中で歩いてこられるので体温が高いのですよ。今は、低いですよ。34.何度ということになりまして。体温計が今どうしようという感じなのですけれども。だから高い方がいらっしゃったら、少し休んでいただいて、冷たい麦茶を用意していましたので、そういうのをご協力いただいたりしました。そうしたら少し下がって6度台になったから、ではオーケーですという感じで対応したり。それでも下がらない方には、申し訳ないけれどもお帰りいただいたりもしていたのですけれども。

図書館 そういうケースもあるのですね。

利用者 そうですね。夏場何人かいらっしゃって。本当に暑い中、本当に皆さん、結構遠くから歩いてこられる方もいらっしゃるので、「あまり無理なさらないでください」という感じで対応させていただいています。あと、やはりご高齢者の方なので、皆さんすごく自分で体調の方は管理されている方も多いので、今までは毎日来ていらっしゃった方も全く来られていないという方もいらっしゃるので、そういった自己管理ができている方もいらっしゃって、そんな感じでお迎えしています。

図書館 私どものこの図書館も、やはり以前までは利用者の数は戻ってはいないというのがあります。でも、最近、やっとほぼ同じぐらいになったかなという日もあるのですけれど。以前、土日だと2,000人ぐらいの方が来られて、一番多いときは2,500人ぐらいの方が来られたのですけれども、最近は土日で天気がよくても2,000人、この前本当に久しぶりに2,000人いったというぐらいで、何割かまだ

まだ戻っていないかなという方もいらっしゃいますね。やはり常連さんで毎日来ていたような方が再開後は来られなくなっていたりして、ああいう人たちは今、どうしているかなと思ったり、本当に同じだと思うのですけれども。

利用者 あと9月、10月末から、講座の方もぼちぼちと増やして行って、やはり歌とかは無理ですけれども、皆さんで小物を作るとか、静かにおしゃべりしないのできるような講座が始まり出すと、皆さん「待っていました」という感じのごくご応募いただくのです。今、人数を抑えているのでなかなか入れない方もいらっしゃるのですけれども、そんな形で徐々に、元どおりまでには行かないのですけれども、来ていただく回数も増やしていきたいなというところで、今、講座の方もぼちぼちと始めております。

図書館 ありがとうございます。

利用者 生涯学習センターの利用はどのようなのですか。

センター 各室の利用者の上限を、それまでは50%の定員でやっていたのですけれども、9月19日からは100%でやっております。ただ、どういう事業で何人入れるかは主催者側の判断になります。

図書館 ほかの自治体では、そういう合唱のサークル活動などで何人か罹患したというケースがあったと聞いていますので、かなり気を遣っておられるのではないかと思います。でも、合唱の方は、皆さんマスクではなくてマウスシールドなどをされてやったりされていますね。

利用者 効果があるかどうか分からないですよ。

利用者 何か言っていますよね、効果について。

図書館 センターの事業も、もう大分戻っていろいろとやっているのですか。

センター 始めております。私どもの主催する事業は、現在始めております。今月は「縁ジョイ」という講座事業とか、大学や病院の公開講座をやっております。平日もありますし、土曜日も入ってきているところです。

ただ、やはり古い施設ですので、換気については利用者の方にもご協力いただいております。

図書館 この会議室を使う団体も、よくドアを前と違って開けて、窓も開けて換気しながら使ったりされているのですけれども、団体によってやはり声が大きく出ていたりするので、その辺りは少しだけにしてもらったりとか、いろいろ工夫しながらやっていただいています。

利用者 ここではないのですけれども、通る人が見ているので、何かパーテーションを入れてやっているのか、開けてやっているのかなど、のぞく方がいらっしゃいました。

図書館 書架の方も、ちょうど東側と西側に小さい窓があるので、両方を開けて風が通るようにしたりしているのですけれども、雨の日だと書架が近いので、本がしわしわになってしまったりすることが随分ありまして、様子を見ながら換気をしているところです。

昨年、この懇談会でいただいたご意見でしたけれども、「センターの大きい掲示板を使ったら良いのではないか」ということを言っていただいて、あれからセンターの掲示板を使わせてもらうようになりました。

- 利用者** はい。文庫展のときに大きなポスターを貼っていただきまして、写メで皆さんにお送りしました。ありがとうございました。
- 図書館** そういうわけで、懇談会で具体的な提案をいただいたものを即実行したというものもありました。また、去年は町会の方にご参加いただいている、町会の掲示板がたくさんあるので、私どもの事業の案内等をしていただけるというご協力を申し出いただいたところです。残念ながら、今、なかなか町会の掲示板に貼って募集するようなものが実施できないので、お願いしていないところなのですけれども、やはりこの懇談会は1年に1回しかなくて、皆様との貴重なやりとりの機会とさせていただきますので、そういう要望、もしほかにも何か情報がありましたら、もう時間ないのですけれども、いただければと思います。
- 利用者** すみません。まだ公表できない段階だったらお答えくださらなくても構わないのですけれども、改修工事が具体的に今、進んでいるのでしょうか。
- 図書館** このコロナの関係で、区の財政が非常に厳しいということになりました。先日行われた議会の中で、区長は、こういう状況になったということで、これから先、来年以降、公共施設をどう直していくのかという、そういう計画があるのですけれども、それを見直すということを議会の中で発言しています。ですので、見直しが今、始まっているところなのです。私どもの生涯学習センターとこの図書館は、来年度から改修工事をやろうと計画をしていて、今も設計の作業をずっとしているところなのですけれども、区全体として見直しということになっていますので、この施設もちろん見直しの対象です。ですから、今現在はいつやるか分からないという状況です。
- 利用者** いつやるか分からないのですね。
- 図書館** はい。
- 利用者** それが分かるのは、いつ頃とかは分かるのですか。
- 図書館** 令和3年度、来年の4月以降の予算が議会にかけられますので、それは議会が多分来年の2月の下旬だと思います。そのときには予算案が区から示されますので、そこに改修工事が載っているかどうかですね。
- 利用者** でも、大体2月なんて、直前ですよ。
- 利用者** 今日は図書館の話ですけれども、センターのホールについてです。去年、文庫連では、教育長から表彰状をいただいたときに、あそこを使わせていただいたのです。そのときに、階段しかなくて、私たちの代表が車椅子利用者なので、私たちいろいろなバトンタッチ作戦で連れてきたいと思っていたのですけれども、階段しかなくて、どうやって車椅子の代表を下へ下ろそうかみたいな、そんな作戦がいろいろあったのです。私は図書館の改修工事があってもいいし、ないのだったらこのままで本を借りられるしと思いますけれど、センターの方は、何でしょう、本当に厳しい。あのホールを使いたいけれども、なかなか下まで下りていくとかそういうことが、とても具体的に厳しい方たちがいるだろうなど。だから、あそこは何とか車椅子でもせめて行かれるようなホールになればいいなど。そのための改修工事はいいなど思っていたのですけれども。
- センター** 身体障害者を含めた障害者の対応に関しては、配慮はしていく考えです。ただ

し、ホール客席はあの斜度なので、今回の改修でも、車椅子の方が前の方に行くのは難しい状態です。

利用者 やっても駄目ということでしょうか。

センター 客席の一番後ろの空間に、4人くらいの車椅子の方が入れる十分なスペースを作る予定です。ただ、やはり最前列までは行けない。前の方に空間を作れないので、後ろの方でももう少しゆったりとしたスペースを作って、そこで介護者の方と一緒に見られるようにしたいと思っています。

利用者 壇上に、車椅子の人が壇上に上られるようにはならないのでしょうか。

センター それについては、楽屋からの通路で入れるように考えています。

利用者 そうですか。あのとき、どこから車椅子で運び込むのかと考えていました。

センター 段差解消機というのを造って、ホール内ではなくて楽屋ルートで入れるように考えています。

利用者 そうですか。そういう改修工事はいいなと思います。

センター 総合的に施設を直すのですが、動線に関しては制約があります。今は、楽屋のルートを考えています。

図書館 いろいろと大きな工事にはお金がかかるし、やりにくいところなのですね。それでも、やはりすぐやらなければいけないこともいろいろありますし、ホールはすぐできるということは難しいかと思えますけれども、私たち図書館の立場で言えば、こういうところを何とかしないと使えなくなってしまうので、そういう部分を今のところは本当に出てきたところを何とか押さえるという感じでやっているわけなのですけれども、そういうのができないかということを考えてもらっているところです。

利用者 天井も落ちるとか、そういうことはないわけですよね。

図書館 この会議室については、雨漏りの水が落ちないように、今、そちらに落としているところですね。この前、天井の一部の色が変わっていますけれども、一部かびてしまったのですね。どうしても湿ってしまうと、そういうカビが発生したりします。天井がいきなりどんと落ちるようなことには、そういう構造にはなっていないです。

申し訳ございません。今日は1時間ということをお願いさせていただいております。まだいろいろ本当、聞かせていただきたいお話もあるところなのですが、今日はこの辺で終了とさせていただきますと思います。

今日はどうもありがとうございました。